



群馬県立前橋東高等学校進路指導部

## ■速報 今年度(2026)の県内国公立大学の倍率(前期日程)は？

### 県内国公立大学 前期日程倍率一覧 3年間分

大学・学部・学科名	2026 倍率	2025 倍率	2024 倍率
群馬大学 共同教育 国語	1.7	2.0	1.1
理科	1.7	1.3	1.0
保健体育	3.6	3.8	4.2
保健 看護	3.3	2.1	1.4
理学療法	2.3	2.6	2.3
検査技術	3.1	2.6	2.3
作業療法	3.2	3.0	1.4
理工 物質環境類	2.4	1.3	1.7
電子・機械類	1.7	1.8	1.4
情報	2.3	2.0	1.8
県民健康科学大 看護	3.5	2.3	2.4
放射線	3.4	2.3	3.4
群馬県立女子大 文 国文	3.7	3.4	2.3
英文	2.6	2.4	1.7
美学美術史	2.7	1.9	1.8
文化情報	3.5	2.5	3.7
国際コミュ	3.2	1.2	1.5
前橋工科大 土木・環境	1.7	建築・都市・ 環境工学群	建築・都市・ 環境工学群
建築都市 学群計 4.0	7.7		
工学デザイン	2.6	2.2	2.0
情報システム	5.6	情報・生命工 学群	情報・生命工 学群
医工学 学群計 3.8	3.9		
生物応用	1.9		
高崎経済大 経済	4.0	3.1	2.6
地域政策	4.5	2.5	2.5

※倍率は、各大学の発表及び旺文社のパスナビのデータによる。

2026年の3.0倍以上を赤字とした。

前橋工科大2026は学科別の募集となったので2025,2024は学群での倍率で示している。

高崎経済大の2024・2025は実質倍率、2026は定員に対する志願者の割合で計算。

## ● 県内国公立大学の前期日程倍率大幅増加！！！！

前回の進路通信でお伝えしたとおり、令和8年度大学入学共通テストは文系6教科で24点、理系6教科で30点も平均点が大幅にDOWNしました。この要因として英語リスニング、数学I・数学A（以下、数学I・A）、国語、物理、情報Iなどの平均点がダウンしています。特に国語、物理、情報Iは10点以上のダウンとなっています。国語は満点値が200点のため、得点率のダウンは5%ですが、物理と情報Iは12~13%のダウンですので影響がより大きいと言えます。理科の選択科目で毎年受験者が最も多いのは化学ですが、次に物理の受験者が多いため、基本的に理系生は物理・化学で受験しているパターンが多いと考えられます。そのため、今回の共通テストは理系生にとってダメージがより大きい結果になったと言えるでしょう

さて、左の表は3年間の県内国公立大の主な学部・学科の前期日程の倍率です。この表の特徴的なものを見てください。

まず、「群馬大、県科大の看護」です。今年度両大学ともに看護は大幅に倍率が上昇しました。これは看護志望者の根強い県内志向と大学入学共通テストの難化による安全志向や他県からの流入によると予想されます。

「県女の国際コミュ」については、昨年度の低倍率の反動に加え、大学入学共通テストの難化による安全志向や他県からの流入によると予想されます。

「前工大」は2022年度の入試で6つに分かれていた学科を2つの群に再編しましたが、2026年度入試では2022年度入試以前の形態に戻しました。建築都市学科や情報システムの人気が高く、5倍を超える高倍率となりました。また、昨年度までの学群での比較においても2026年度の倍率は建築・都市・環境工学群で2.2⇒4.0倍、情報・生命工学群で1.8⇒3.8倍と高くなりました。理由は上記の「群馬大・県科大・県女」と同じであると考えられます。

「高経大の地域政策」も倍率が4倍を超え、大学入学共通テストの難化による安全志向を受けて受験生が集まったと予想できます。

一方、群馬大の共同教育学部、理工学部は例年並み、理学療法は倍率が下がっています。

県内国公立大学についてまとめると、2026年度は共通テストが難化することで全体的には倍率が上昇したといえる結果となりました。

## ● 県内志向の落とし穴とは？

前東の生徒は多くが群馬県内を進学先に選ぶ「県内志向」です。しかし、入試の戦略上も大学の選定上でも、「それで良いのか？」と疑問を持ちます。例えば、看護に関して言えば、お隣の新潟県を見ると、今年度の前期日程で「新潟大看護」は1.7倍、「新潟県立看護大」は2.0倍です。もちろん倍率が全てではありませんが、群馬大・県科大よりは、はるかに低倍率です。また、我々は群馬県内の大学は「群馬県の高校生だけが受験する」という幻想を抱きがちですが、例えば、茨城県の「茨城県立医療大看護」に出願予定の受験生の第2志望先の上位トップ3に「群馬県民健康科学大看護」が例年入っています。また、昨年度（2025）の群馬大保健学科受験者712人中、群馬県内の受験生は240人しかおらず、全体の65%以上が他県の受験生です。群馬県外の受験生の多くは、他県も含めた広い視野で進学先を選んでおり、県内の大学を受験する場合、その生徒達とも勝負しなければならないというのが現実なのです。ぜひ、1・2年生は県外の大学にも興味を持って、選択肢を広げてください！